

## 齋藤秀雄 【略歴】

- ・ 日本大学芸術学部美術学科卒業
- ・ 芸術学博士(論文 近代絵画マチュール論)
- ・ 国際芸術文化賞 (日本文化振興会)

### <主な受賞>

- ・ 第11回二紀会展 (褒賞受賞) 「20歳」
- ・ 近代日本美術協会展(内閣総理大臣賞・文部大臣賞・大賞・その他)
- ・ チリ国際美術賞展(銅賞受賞)
- ・ ル・サロン展(優秀賞・銀賞受賞)
- ・ サロン・ビオレ展(銀賞受賞)
- ・ (サロン・ド・メ招待賞受賞)「過去2回招待」
- ・ その他、国際展金賞受賞国  
(フランス・オーストラリア・イタリア・スペイン・アメリカ・イギリス・ドイツ・モナコ・ロシア・カナダ)

### <主なフランス画壇 招待出品>

サロン・ビオレ展  
サロン・ド・メ展  
アンジェ市サロン展  
パリ20人展

### <役職>

フランス芸術家協会 (ル・サロン) 永久会員  
サロン・ド・メ会員  
日本彩美会 (彩美展) 会長  
ワールド・イン・パリ展 代表

### サロン・ド・メ展の紹介

サロン・ド・メ展はフランス画壇で、過去に ピカソ マチス ブラック ミロなどの世界的な画家が招待された展覧会である。

平成15年に齋藤秀雄氏がサロン・ド・メ展に招待され、以後地域の福祉活動と、美術の素晴らしさ色の深さなどを文化会館などで公演活動をしている。

また、県・市の福社会館などに絵を寄贈し芸術の素晴らしさを広めている。

そして地域と美術の関係を深める活動をし、現在に至る。

### サロン・ド・メ展

「5月の展覧会」の意味。現フランス画壇の前衛的な作家の集まりで、1943年に創立され1945年に第1回展を開いた。レジスタンス運動に端を発したといわれる。

抽象主義、超現実主義の画壇に彫刻家を含み、公募しない招待展である。

マチス、ルオー、ピカソ、ブラック、ミロ等が招待された展覧会でまれに外国作家を招くこともある。現在も、世界美術界の頂点であるサロン・ド・メに招待されるよう世界中の一流画家がしのぎを削って招待を期待している展覧会である。

過去に群馬県からは、初めて山口薫氏が招待され、最近では二人目に齋藤秀雄氏が二度招待された。

## サロン・ドトーン展

サロン・ドトーン展は、具象作品が多いフランスの最大最古の伝統を持つ公募展、ル・サロンに対して、前衛傾向の多い現代絵画の中核的サロンです。フランス語のオートヌヌ（秋）「秋季展」の意味を持っています。

マチス、ルオー、マルケ、ボナール等によって創立された展覧会であるが、後にルノワール、ルドン等が加わりさらにドラン、ヴラマンク、ブラック等々が加わり世界一レベルの高い公募展になった。現在、斉藤秀雄氏に学んでドトーンに入選した作家6名がいる。

## ル・サロン展

フランス芸術家協会（Societe des Artistes Francais）主催により開催される展覧会で通称ル・サロンと呼ばれている。

約340余年という伝統を持つ世界最大最古の展覧会で、フランスで開催されている。

過去には、ジェリコ、ドラクロア、クルーベ、ミレー、ドーミエ、マネ、モネ、ピサロ、ルノワール、コロー、ルオー、といった偉大な画家が出品していた。

1667年ルイ14世により、サロン（客に接する部屋）で作品展を開催したことから始まる。

1855年ナポレオン3世がこれを初期の国際展へと発展させ今日グランパレで開催されるようになった。

現在、斉藤秀雄氏（ル・サロン永久会員）の門下生で、ル・サロン会員が6名いる。

## 斉藤画廊

代表 齋藤潔

群馬県前橋市田口町179-1

027-210-2266